

2025年12月19日

千葉大学看護学部創立50周年記念事業のご報告

千葉大学看護学部創立50周年記念事業
企画・実行委員会
千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会

令和7(2025)年12月14日(日)、千葉大学看護学部創立50周年を記念する一連の記念事業を、愛子内親王殿下にご来臨を賜り、あわせて多くの関係者のご臨席のもと、盛大に執り行いました。当日は朝から肌寒く小雨が降り、天候が懸念されましたが、開会時には雨もほぼ止み、落ち着いた雰囲気のもとで記念事業を開催することができました。

14時より、千葉大学亥鼻キャンパス内のものはな記念講堂において記念式典を開催し、約400名が出席しました。式典では、横手幸太郎学長および増島麻里子看護学研究院長・学部長より挨拶が述べられ、本学看護学部が歩んできた50年の歴史を振り返るとともに、今後の発展に向けた決意が示されました。続いて、愛子内親王殿下よりおことばを賜り、会場は厳粛で心温まる雰囲気に包まれました。来賓祝辞として、文部科学大臣 松本洋平様(松浦重和大臣官房審議官代読)、千葉県知事 熊谷俊人様、日本看護系大学協議会代表理事 堀内成子様よりご祝辞を頂戴し、看護学部が果たしてきた教育・研究・社会貢献に対する高い評価と、今後に向けた励ましの言葉が述べられました。また、千葉市長 神谷俊一様及び厚生労働省医政局看護課長 習田由美子様にもご登壇いただきました。

引き続き同会場にて記念講演会を開催しました。岐阜県立看護大学学長 北山三津子先生からは、「1期生として千葉大学看護学部における経験を振り返って」と題し、創設期の学びや当時の思い、看護学部の原点についてお話しいただきました。続いて、京都大学名誉教授 広井良典先生より、「ケアと現代社会」と題し、社会の変化の中でケアが果たす役割と看護学への期待について示唆に富むご講演をいただきました。おわりに、看護学部4年生 山崎妃奈子さんによる希望あふれる学生挨拶が行われ、記念式典・記念講演会は締めくくられました。

18時からは、ロイヤルパインズホテル千葉において記念祝賀会を開催し、約200名が出席しました。祝賀会では、増島麻里子看護学研究院長・学部長、森恵美看護学部・看護学研究科同窓会長、横手幸太郎学長より挨拶があり、続いて公益社団法人日本看護協会会长 秋山智弥様、衆議院議員・元法務大臣 森英介様よりご祝辞を頂戴しました。乾杯は第12代学長 古在豊樹先生のご発声により行われました。大学合唱団による歌声や、看護学部公認ダンスサークル舞部によるパフォーマンスが披露され、会場を大いに盛り上げました。また、CHIBA TOMOのニシ、イノ、マツの登場や、元教員、同窓生からのお祝いの言葉、海外協定大学から寄せられた多数のビデオレターの紹介などが行われ、世代や国境を越えたつながりを感じられる祝賀会となりました。

本記念事業は、千葉大学看護学部の50年の歩みを振り返るとともに、次の50年に向けた新たな決意を共有する意義深い機会となりました。開催にあたり、多大なるご支援とご協力を賜りましたご来賓や関係各所の皆様、ご寄付をいただいた皆様、同窓生並びに準備・運営に携わった教職員及び学生の皆様に心より御礼申し上げます。皆様の温かいご支援により、本記念事業を無事かつ盛会のうちに執り行うことができましたことを、深く感謝申し上げます。

記念式典並びに記念講演会の様子

愛子内親王殿下のおことば



会場の様子

ご来賓



横手幸太郎学長の挨拶



増島麻里子看護学研究院長・学部長の挨拶



北山三津子先生のご講演



広井良典先生のご講演



4年生山崎妃奈子さんの学生挨拶



以上